

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		朝倉彫塑館管理運営				所管	文化産業観光部 文化振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	67	計画事業名	文化施設の活用		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						[事業開始] 昭和62年度	
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり						[終了予定] - 年度	
		[施 策] ①文化に触れる機会の充実							
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区立朝倉彫塑館条例、同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。							
事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持、管理 彫塑等の収集、保管、展示 朝倉文夫に関する調査及び研究 彫塑等に関する調査及び研究 								
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	開館日数	日	250	253	254	253	252	100.4%
		成果指標	入館者数	人	45,000	43,894	47,522	45,010	45,000
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			3,529		1,338		2,179
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			43,854		32,951		40,699
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			33		5		24
		総経費			47,416		34,294		42,902
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			19,127		18,447		18,948
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0
一般財源(区負担額)			28,289		15,847		23,954		
前回評価から29年度に改善した事項	朝倉文夫が生前から構想していた企画展「猫百態」を実現し、若年層の集客にもつながった。設備管理の面では、館と収蔵庫の空調設備点検の定期的な実施を開始し、建物や収蔵品の適切な保存に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	敷地全体が国の名勝、主要な建物が登録有形文化財である館を、区が台東区名誉区民である朝倉文夫の彫塑芸術作品も併せて適切に保存管理し、区民をはじめ広く一般に公開していく必要がある。						
	効率性	3	登録有形文化財である施設の補修や、名勝である庭園の維持管理について、区と指定管理者の間で密に連絡を取り、必要最小限の経費で来館者の鑑賞環境の維持が適切になされている。						
	手段の適切性	4	朝倉文夫遺族にあたる女優富沢亜古氏を招いたギャラリートークの実施や、朝倉文夫氏生前より構想のあった企画展「猫百態」の実施、解説書・解説キャプションの充実を心がけ、彫塑の魅力が幅広い層の来館者に伝わるようサービスの充実が図られている。						
目的達成度	4	年間パスポートによるリピーターが多く、入館者数は安定している。また、通常は年齢層50代から60代の来館者が多いが、企画展「猫百態」では若年層の集客を得られ入館者数は目標値を達成した。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
朝倉文夫の遺族を招いたギャラリートークの実施や、魅力ある展示により、多くの来館者を集めた。28年度よりも総入館者数は減少したものの、有料入館者数は増加している。今後も名勝・登録有形文化財である館の維持管理に配慮しながら、より広く一般に朝倉文夫の彫塑作品を公開していく。						維持	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		